10分経過で
救命率ほぼ0%
急げ。

AEDは、使えることでAEDになる。

2013年10月23日
走っていた男性が
突然ぱたりと倒れた。

近づくとみるみる顔から
色が消えていく。

AEDと救急車！
全体重をかけて心臓マッサージ

緊急ブザーが私の中で鳴り響いた。
絶対助けなければ…
動いて！生きてくれ！

そして私は、
電気ショックボタンを押した。

〈京都市　福田瑞穂さん 学生〉

AEDは
時間との闘いでもある。

＼使おう／
AED導入10年目プロジェクト
減らせ突然死

減らせ突然死プロジェクト実行委員会